

# 浜松北部

ひとこと



中井 陸斗

**入野田端ソフトボール**  
 ぼくは、三年生の時にソフトボールをやりました。  
 最初は、初めて試合に出たとき、サードでできました。  
 サードでたときフライを落したけど、次からはフライを落さなかつたからよかった。初めヒットを打ったのは、西都台のきでした。そのときは、うれしかったです。(浜松市西区入野町)

## モノづくり関心・感心

企業見学を通して、児童に仕事の面白さを体験してもらう「浜松わくわく探検隊」(中日新聞東海本社後援)が二十九日、浜松市東区内を巡るコースであった。五十七組、百五十四人の親子らが機械部品や菓子工場などで、最先端のモノづくりに触れた。  
 (赤野嘉春)

### 東区 親子154人企業見学

シートベルト部品を「世界のいろんなメーカー製造するカツヤマファカーの車に部品が使われている」、この会社のインテック(同区等井)では、プレス機械が止まると作れないや塗装、組み立て工程となると聞いて驚いた。池島拓海「私も子どものころを体験した。池島拓海(四)は君(北浜南小六年)は工場見学は思い出に残



大型プレス機の前で生産工程の説明を受ける親子ら＝浜松市東区のカツヤマファインテックで

### 車いすでクッキー作り

#### 親子ら細江で福祉体験

同市北区細江町のみをつくし文化センターで開かれた。車いすでクッキーなどを焼いて販売する中

区に招き、九組十九人の親子が参加した。子どもたちは車いすに乗り、斉藤さんと一緒に近くの気賀駅まで散策に行ったり、文化センターにあるバリア



車いすの生活について話した＝浜松市北区細江町で

浜松市社会福祉協議会の夏休み特別企画「親会北地区センター主催 子福祉体験講座」が、

### 細江に花の名所を

天浜線沿い 有志らコスモス種まき



コスモスの種まきをする中学生ら＝浜松市北区細江町で

### 「身近に感じ、郷土に誇りを」

っている。モノづくりの雰囲気を知ってもらい、将来に役立ててほしいと期待していた。同探検隊は、世界に誇る技術や国内トップシェアを持つ企業を訪ね、地元企業への理解を深めてもらうと、社団法人「ぼっぶちやいるど」(水野久美子理事長)が企画。貸し切りバス二台に分乗して、企業四社の製品作りを見聞した。  
 水野理事長は「世界一、日本一の企業を身近に感じて、郷土に愛情や誇りを持つ子どもたちが増えてほしい」と話した。

焼き上げた。親子で福祉についてな表情で取り組んでい考える貴重な体験とあつた。(高柳義久)

東京・上野 (単位=百本・円)

	高値	中値
【菊】		
白	9200	5500
黄	8000	5500
赤	7000	5000
赤	4000	3000
黄	4000	3000

の土手約二百坪に種をまいた。約一時間半ほど作業は終了。有志の4人は「自分たちの手で業すること、地域誇りや自信が持てるうになれば、今後リアを拡大するなど続していきたい」と話していた。  
 (高柳義久)